

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	小中一貫教育研究事業(教育研究所経費)			所管課	教育総務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	学校	目的	時代の要請や社会の動向を踏まえ、教育の改善やその振興及び充実を図る。		
事業概要	教育に関する専門的・技術的事項の研究（英語教育の推進、小中一貫教育の研究等）及び教育研修を行う。				

事業予算										
会計	01	款項目	09	01	02	大事業	0002	教育研究所経費（小中一貫教育推進事業）		
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込		R4事業費		
		直接事業費	344	3,193		888				
		概算人件費	4,460	5,441		5,441				
		トータルコスト	4,804	8,634		6,329		0		
		国庫/県支出金	0	0		551				
		その他	0	0		0				
R2 概算人件費		正規職員		0.28 人		1,680 千円				
		再任用職員		人		千円				
		会計年度任用職員		2 人		3,761 千円				
		その他		人		千円				
		合計				5,441 千円				

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合【戦略】（%）	75.6	75.6	コロナに伴い中止	76.6	77.0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・ソフト面では、各教科ごとの9年間のカリキュラム系統表が完成し、今後、つまづきやすい単元の洗い出しが可能となったほか、小・中学校が義務教育9年間を見通した共通性と一貫性のある指導方針として、「誰一人取り残されない学級集団・学習集団づくり」への取り組みを開始し、先行して実践している山西小学校で効果が見られた。ハード面では、施設一体型小中一貫教育のメリットとデメリットを引き続き整理し、町民に分かりやすく示す必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	児童・生徒安全対策事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	●
事業対象	学校・地域	目的	地域との連携を強化することで、児童・生徒の日常的な防災意識の高揚と災害時の安全確保を図る。			
事業概要	児童・生徒の安全対策について、地域住民や保護者等の要望・意見を集約し、関係団体との連携により、実効性ある行動計画を企画・立案する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	02	大事業 0004 児童・生徒安全対策事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
	直接事業費	2,152	2,057		2,249	
	概算人件費	859	507		507	
	トータルコスト	3,011	2,564		2,756	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.08 人		507 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			507 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 通学路点検対応箇所数（合同点検実施箇所＋合同点検未実施のうち対策済みの箇所数）（箇所）	5	15	41	15	15
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

Figure 1: Scatter plot of Importance (重要度) vs Satisfaction (満足度). The x-axis ranges from 3.30 to 4.50, and the y-axis ranges from 2.40 to 3.60. A red cross marks the center at approximately (3.97, 2.97). Measure 1 is plotted at (4.11, 2.88), which is in the '重点改善分野' (Focus Improvement Area) quadrant (high importance, low satisfaction).

分析					
分析の視点	高い	←→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の危険箇所の情報が関係者間で共有されるとともに、対応策を講じることができている。</li> <li>交通安全に重点が置かれており、防災面・防犯面の議論も活性化させる必要がある。</li> </ul>				

Figure 2: Radar chart showing scores for five dimensions: 必要性 (5), 必然性 (3), 緊急性 (3), 実効性 (3), 時代即応性 (3). The chart shows a strong score for '必要性' (Necessity) and moderate scores for other dimensions.

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●			●	●	
事業対象	学校	目的	児童生徒が健康で安全な学校生活が送れるように努める。			
事業概要	心臓病判定委員会、健康診断日程調整会議等、児童生徒の健康管理に関する事務及び、水泳教室送迎バス借上、事業の実施。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0002 教育振興経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	3,181	45,180	5,029		
	概算人件費	1,822	1,232	1,232		
	トータルコスト	5,003	46,412	6,261	0	
	国庫/県支出金	0	309	2,800		
	その他	0	0	0		
R 2 概算人件費	正規職員	0.22 人		1,232 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,232 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
 学校給食費の無償化や感染症対策に対する補助金など令和2年度はコロナ禍に伴う事業費が多くを占めており、事業費が大幅に増となっているが、児童生徒が安全に学校生活を送るために必要な経費であり適正に事業を実施することができた。水泳事業が中止となったことにより執行できなかった予算もあり、コロナによる影響が多い事業ではあるが、目的を達成するために課題等を整理し、柔軟に対応していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	学校図書館推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	学校	目的	図書館環境を整えることで、児童生徒の創意あふれた学習活動の充実を図る。			
事業概要	学校図書館に司書を派遣し、学校図書館の読書環境の整備とレファレンスへの対応、広報活動による図書館の活性化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0006 学校図書館推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	899	1,106		1,697	
	概算人件費	3,197	3,110		3,110	
	トータルコスト	4,096	4,216		4,807	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.03 人		197 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	4 人		2,913 千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,110 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 貸出冊数（冊）	21,600	26,000	17,306	21,600	21,600
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	□	■	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	□	■	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	コロナ禍や学校臨時休業の影響で、貸出冊数は減少しているものの、読書活動や調べもの学習等で有効に活用されている。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	英語教育推進事業			所管課	教育総務課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）
					●
事業対象	学校	目的	国際化が日常化する中で、学習を通じ、小中学生の日本や外国の文化等への理解を深めるとともに、英語による実践的なコミュニケーション能力を高める。		
事業概要	各学校へのALTの配置及び英語教材の整備を行うとともに、英語検定受験の奨励を行う。				

事業予算								
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	0009	英語教育推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込		R4事業費
	直接事業費	8,325		8,487		8,577		
	概算人件費	888		348		348		
	トータルコスト	9,213		8,835		8,925		0
	国庫/県支出金	0		0		13		
	その他	0		0		0		
R2概算人件費	正規職員	0.06人		348千円				
	再任用職員	人		千円				
	会計年度任用職員	人		千円				
	その他	人		千円				
	合計			348千円				

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 中学校卒業時における英検3級の取得率【戦略】（%）	45.8	コロナの為不明	35.2	50.0	50.0
② 全国学力学習状況調査全国平均との差（点）	±0	+4	- (3年に1度実施)	- (3年に1度実施)	+5

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
 教員の授業力や児童生徒の英語の学力は着実に向上している。英検の受験率低下は、コロナ禍も原因として考えられるが、今後、一層の奨励を行っていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	学校間ネットワーク推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	学校	目的	「e-japan重点計画」、「学習指導要領」、「学校教育の情報化推進計画」に基づき、ICT環境を充実させ、事務の効率化及び学校の安全管理を図る。			
事業概要	学校間ネットワーク及び校務支援システムの整備を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0010 学校間ネットワーク推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
	直接事業費	10,818	9,348		18,217	
	概算人件費	609	793		793	
	トータルコスト	11,427	10,141		19,010	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	

R 2 概算人件費	正規職員	0.15 人	793 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	人	千円
	その他	人	千円
	合計		793 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 教職員の時間外勤務の平均値 (グループウェアタイムカード機能による積算値) (h/月)	39.2	39.2	38.8	33	30

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- ・教育委員会と学校間をイントラネットで繋ぐことにより、迅速できめ細かな情報提供が可能となり、業務効率が向上している。また、防犯カメラの設置により、児童生徒の安全性が向上している。
- ・令和2年度より校務支援システムを導入したことにより、成績処理等の業務効率が向上している。
- ・デスクネットのタイムカード機能を利用し、教員の時間外勤務の実態把握をした。今年度は成果指標の基準値の範囲内となっているが、コロナの影響に伴い教職員の業務が増加しているため、環境整備をしていくことで事務の効率化できるものについて整理をし、教職員の働き方改革を進めていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	ICT教育推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	学校	目的	ICT環境整備を推進することで、効率的かつ質の高い授業展開を図る。			
事業概要	新学習指導要領に対応した、教育用コンピューター等のICT環境を整備する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0014 ICT教育推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	4,870	86,238		59,434	
	概算人件費	994	2,936		2,936	
	トータルコスト	5,864	89,174		62,370	0
	国庫/県支出金	0	21,312		718	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.53 人		2,936 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,936 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 授業でもっとICTを活用したいか（全国学状調査）（%）	80	小88.6 中76.3	コロナに伴い中止	85	90
② 週1回以上授業でICTを使用したか（全国学状調査）（%）	80	小28.1 中37.2	コロナに伴い中止	100	100

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等  
 令和2年度中に文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台の端末や校内のネットワーク環境を整備した。一方で急速に整備をしたことから、学校では端末の活用について手探りの中で進めているところであり、学校現場がより安心して活用していけるようルール等の整備が必要な状況である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	02	大事業 0001 二宮小学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	2,135	7,778		1,825	
	概算人件費	455	785		785	
	トータルコスト	2,590	8,563		2,610	0
	国庫/県支出金	0	720		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.16 人		785 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			785 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	□	■	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	02	大事業 0002 一色小学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	1,267	6,924		1,190	
	概算人件費	455	785		785	
	トータルコスト	1,722	7,709		1,975	0
	国庫/県支出金	0	585		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.16 人		785 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			785 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、児童の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	02	大事業 0003 山西小学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	1,684	5,731		1,570	
	概算人件費	455	592		592	
	トータルコスト	2,139	6,323		2,162	0
	国庫/県支出金	0	360		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.13 人		592 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			592 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	02	大事業 0001 二宮中学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	2,559	4,197		4,438	
	概算人件費	455	664		664	
	トータルコスト	3,014	4,861		5,102	0
	国庫/県支出金	0	495		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.14 人		664 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			664 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育内容の向上	4.11	2.88
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育振興経費			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●		●	
事業対象	学校	目的	教科書、指導書、備品等の購入を通じて、生徒の教育効果の向上を図る。			
事業概要	教育効果向上に資する消耗品・備品等を購入する。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	02	大事業 0002 二宮西中学校教育振興経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	2,216	4,481		4,157	
	概算人件費	455	1,265		1,265	
	トータルコスト	2,671	5,746		5,422	0
	国庫/県支出金	0	405		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.24 人		1,265 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,265 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育内容の向上	4.11	2.88
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な消耗品や備品等の購入により、教育効果の向上が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	支援教育推進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	支援を必要とする児童・生徒に対する学習及び生活支援を行い、安心して学校生活を送るための環境整備を図る。			
事業概要	各学校に支援教育補助員を配置し、支援体制の強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0007 支援教育推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	30	724		1,710	
	概算人件費	20,217	21,465		21,465	
	トータルコスト	20,247	22,189		23,175	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.18 人		1,080 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	24 人		20,385 千円		
	その他	人		千円		
	合計			21,465 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 支援教育補助員の人数（人）	24	24	24	24	25
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 支援を必要とする児童生徒への対応の充実	4.02	2.96	
2 教育相談の充実	3.93	2.95	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	
<p>重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく</p> <p>重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い</p> <p>維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく</p> <p>改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要</p>			

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	児童生徒の個に応じたきめ細かな学習支援が展開できているものの、学校における児童生徒のニーズは年々多様化している。また、令和4年度には医療的ケア児への支援も新たに生じることが想定されており、更なる支援が必要となっている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	教育相談・教育支援室事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	学校	目的	学業上の悩みについての教育相談及び不登校児童・生徒への支援を通じて、児童生徒の心のケアを図る。			
事業概要	心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行うとともに、不登校児童・生徒への支援を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0001 教育相談・教育支援室事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	261		168		202
	概算人件費	6,316		7,794		7,794
	トータルコスト	6,577		7,962		7,996
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	0.33人		1,949千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	5人		5,845千円		
	その他	人		千円		
	合計			7,794千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 年間相談件数（件）	1056	1275	1160	1275	1275
② 相談援助職の月あたりの合計稼働日数（県雇用含む）（日）	心理・SC 20 SSW 10	心理・SC 20 SSW 10	心理・SC 20 SSW 14	心理・SC 20 SSW 14	心理・SC 20 SSW 14

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 支援を必要とする児童生徒への対応の充実	4.02	2.96
2 教育相談の充実	3.93	2.95
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	児童生徒が抱える問題や悩みに対して、きめ細かな対応ができたものの、学校における児童生徒のニーズは年々多様化しており、更なる対応が必要となっている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	コミュニティ・スクール運営促進事業			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	●
事業対象	学校・地域	目的	地域とともにある学校づくりの手法のひとつとして、コミュニティ・スクールの運営を促進することで、児童生徒の豊かな成長を支援する。			
事業概要	学校運営協議会の活動に対する支援及び組織体制の強化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	01	03	大事業 0011 コミュニティ・スクール運営促進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	2,402	2,501		2,958	
	概算人件費	878	201		201	
	トータルコスト	3,280	2,702		3,159	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.03 人		201 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			201 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 各校の学校運営協議会の開催回数（回）	4	3.2	3.4	4	4
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域と連携した教育活動の充実	3.89	3.07
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等  
 町内すべての小中学校がコミュニティ・スクールとなって2年目を迎え、コロナ禍の影響で活発な活動はできなかったものの、学校臨時休業に伴う学びの保障の観点から、地域の方々による学習支援なども展開され、学校のニーズに沿った取り組みの方向性が徐々に定まってきている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	0002 二宮小学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
	直接事業費	2,638	2,252		3,256	
	概算人件費	2,822	3,403		3,403	
	トータルコスト	5,460	5,655		6,659	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.58 人		2,988 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,403 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	一色小学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	0003 一色小学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	
	直接事業費	1,471	1,416		2,125	
	概算人件費	2,071	2,948		2,948	
	トータルコスト	3,542	4,364		5,073	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.58 人		2,533 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,948 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図れている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	山西小学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び児童の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	大事業 0004 山西小学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,005		1,706		2,509
	概算人件費	2,822		2,662		2,662
	トータルコスト	4,827		4,368		5,171
						0
国庫/県支出金		0		0		0
その他		0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員			0.33 人		1,416 千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			1.5 人		1,246 千円
	その他			人		千円
	合計					2,662 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図れている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮小学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	大事業 0006 二宮小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,540	3,545	30,928		
	概算人件費	2,783	3,426	3,426		
	トータルコスト	5,323	6,971	34,354	0	
	国庫/県支出金	0	1,317	0		
	その他	0	0	0		
R 2 概算人件費	正規職員	0.6 人		3,011 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,426 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。  
 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	一色小学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	大事業 0007 一色小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,986	1,936	8,519		
	概算人件費	2,031	2,971	2,971		
	トータルコスト	5,017	4,907	11,490		0
	国庫/県支出金	0	1,242	0		
	その他	0	0	0		
R 2 概算人件費	正規職員	0.6 人		2,556 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,971 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。  
 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	山西小学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	02	01	大事業 0008 山西小学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算見込
		R 4 事業費				
	直接事業費	720		2,868		10,176
	概算人件費	2,783		2,781		2,781
	トータルコスト	3,503		5,649		12,957
	国庫/県支出金	0		974		0
	その他	0		0		0
R 2 概算人件費	正規職員			0.35 人		1,535 千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			1.5 人		1,246 千円
	その他			人		千円
	合計					2,781 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。  
 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	大事業 0002 二宮中学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	2,488	2,137		3,343	
	概算人件費	3,091	2,907		2,907	
	トータルコスト	5,579	5,044		6,250	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.58 人		2,492 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,907 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図れている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校運営の充実及び生徒の安全の確保に努める。			
事業概要	学校運営に必要な消耗品や燃料の購入および設備修繕を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	大事業 0003 二宮西中学校施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	2,278	1,932		2,931	
	概算人件費	2,763	3,314		3,314	
	トータルコスト	5,041	5,246		6,245	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.57 人		2,899 千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,314 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

The scatter plot shows '重要度' (Importance) on the x-axis (3.30 to 4.50) and '満足度' (Satisfaction) on the y-axis (2.40 to 3.60). A vertical red line is at 3.97 and a horizontal red line is at 2.97. Measure 1 is plotted at (4.21, 2.93), which is in the '重点改善分野' (Focus Improvement Area) quadrant (high importance, low satisfaction).

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 必要な資材の購入や修繕の実施により、適切な学校の管理運営が図られている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮中学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	大事業 0005 二宮中学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	1,763	5,448		660	
	概算人件費	3,052	2,971		2,971	
	トータルコスト	4,815	8,419		3,631	0
	国庫/県支出金	0	1,282		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.6 人		2,556 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,971 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等  
 ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。  
 ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	二宮西中学校教育施設整備事業 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	学校	目的	学校施設改修及び備品購入を行い、教育環境の整備に努める。			
事業概要	学校施設の工事および備品購入を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	03	01	大事業 0006 二宮西中学校教育施設整備事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	390	2,658		3,300	
	概算人件費	2,723	3,426		3,426	
	トータルコスト	3,113	6,084		6,726	0
	国庫/県支出金	0	1,750		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	0.6 人		3,011 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5 人		415 千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,426 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・必要な学校施設の整備により、児童生徒の教育環境が整備できている。
- ・施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	学校給食施設管理運営経費 ※			所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	●
事業対象	学校	目的	学校給食を適切に管理運営し、児童生徒に安心安全でおいしい給食を提供する。			
事業概要	施設の管理を通して、学校給食業務の環境の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	09	05	03	大事業 0001 学校給食施設管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算見込	R 4 事業費
	直接事業費	68,615	85,423		83,317	
	概算人件費	16,330	7,109		7,109	
	トータルコスト	84,945	92,532		90,426	0
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 2 概算人件費	正規職員	1.22 人		5,946 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	1 人		1,163 千円		
	その他	人		千円		
	合計			7,109 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 見込	R 4 計画
① 米飯の残食率（小学校）（%）	18.0	9.7	7.1	9.0	8.0
② 米飯の残食率（中学校）（%）	19.6	14.1	15.1	14.0	13.0

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 安全・安心な教育施設の整備	4.21	2.93
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく  
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い  
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく  
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- 調理、配送、配膳を外部委託したことにより、より安定的な給食の提供に繋がった。
- 令和2年度の夏期期間は学校の夏休みが短く、給食の提供回数が多かったことから、食べやすいように味付けや献立の工夫をした。
- 施設・設備の経年による老朽化への計画的な対応が必要となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			